

事務事業評価シート(平成25年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ [Plan1]

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当係長名
54221	図書館管理運営事業	教育委員会	図書館	百瀬辰夫	吉澤志津江
		一次評価年月日	平成 26 年 6 月 5 日	連絡先(内線)	2550
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ(会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		予算コード	事業名(歳出予算見積書)
	<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	1052	図書館管理運営事業	
	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別			#N/A	
	第五次総合計画前期基本計画の施策体系における位置づけ	章	(コード選択)	5章	学びあいと育てあいのまちづくり
		節	(コード選択)	4節	生涯学び続けられる環境の充実
項[基本施策]		(コード選択)	2項	社会教育活動の推進	
目[主な施策]		(コード選択)	2目	図書館のサービス向上	
関連する計画等への位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/> 第五次行政改革大綱 <input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画 <input type="checkbox"/> 主要業務報告 <input type="checkbox"/> その他				
事務期間	(開始) T10 年度 ~ (終了予定) 年度	<input type="checkbox"/> 開始時期不明	<input checked="" type="checkbox"/> 終期設定なし		

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。) [Plan2]

①対象(誰のために).....この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

住民、辰野町在勤在学者、図書館利用者

②目的(意図)(どんな状態にしたいか).....この事業を実施することにより、対象をどういう状態にしたいのですか。

住民の皆さんが幸せで満ち足りた生活を過ごせるように手助けを行う。

③手段(事業内容)(どうやって).....上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、実施した行政活動(対象に対する働きかけ)を記入します。

- 地域の情報拠点として、情報を蓄積保管する。
- 読書施設として、静謐で快適な環境を提供できるよう、館整備を行う。
- 貸出業務、レファレンス業務などの通常業務を正確に的確に行うとともに、児童や一般を対象とした集会活動も積極的に行う。
- サービス充実のために、ボランティア活動を拡充する。

(3) 活動指標の設定と推移.....(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。 [Do1]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		24年度	25年度	27年度(見込み)	達成率	27	年度(見込み)
①	指標名	蔵書数	67,643	63,386	64,000	1.01	64,000
	説明	所蔵する資料の数	算出方法・計算式・目標値設定の考え方等				
②	指標名	リクエスト、予約数	1,377	1,295	1,400	0.93	1,400
	説明	利用者から寄せられるリクエスト予約数	算出方法・計算式・目標値設定の考え方等				

(4) 成果指標の設定と推移.....(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。 [Do2]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		24年度	25年度	27年度(見込み)	達成率	27	年度(見込み)
①	指標名	利用者数	21,835	21,253	22,000	0.97	22,000
	説明	図書館資料利用者数	算出方法・計算式・目標値設定の考え方等				
②	指標名	貸出冊数	86,401	85,703	89,000	0.96	89,000
	説明	図書館資料貸出冊数	算出方法・計算式・目標値設定の考え方等				

(5) 総事業費(コスト)の推移 [Do3]

※事業費の算定方法 決算書・予算書等に記載の数字 按分計算による算定

○総事業費(コスト概算) =①+② (千円)	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度													
	決算	決算	決算	見込み													
	23,580	33,519	34,352	34,429													
対前年比 %	/	142.2	102.5	100.2													
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)	100	100	100	100													
B) 一般財源(税金)	23,480	33,419	34,252	34,329													
①事業費 (千円)	11,543	20,926	21,253	21,377													
対前年比 %	/	181.3	101.6	100.6													
②人件費の概算 (千円)	12,037	12,593	13,099	13,052													
対前年比 %	/	104.6	104	99.6													
	課長	課長補佐	係長	一般職員	延べ人数	年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費								
	H24	H25	H26	H24	H25	H26	H24	H25	H26								
町職員(正規職員)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	6,098	5,873	5,882	5,835
臨時職員	人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算シート)						7.00	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00	5,939	6,720	7,217	7,217	

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果		
妥当性	1. 事業に対する町民のニーズに変化はありますか	A	A 増加傾向にある	B 変化していない	住民ニーズの具体的な把握方法をお書きください 図書館協議会委員からは定期的に、ボランティアの方からはアンケートで要望などを伺っている。
	2. 国・県・民間との役割分担から、町が事業を実施する必要がありますか	A	A 町が主体となる必要がある	B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要	
	3. 対象(受益者)の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である	Bの場合、その具体的な内容をお書きください	
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している	Bの場合、その具体的な内容をお書きください	
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	A	A 期待したとおりの成果があった	C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください	
			B 概ね期待したとおりの成果があった		
効率性	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	B	A すでに実施している	A・Bの場合、その具体的な内容をお書きください 町内小中学校、上伊那広域とのネットワーク構築	
	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	A	A 余地なし	C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください	
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	A	A 検討の余地なし	C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください	
			B 当面検討の余地なし		
その他	9. 民間企業・住民団体との協働の可能性	A	A すでに実施している	A・Bの場合、その具体的な内容をお書きください	
			B 可能	ボランティアによる、読書支援活動が定着している。また、環境整備、図書装備作業もボランティアにより行われている。	

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみを一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
- b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
- c 効率化を図る(コストを下げる)
- d 縮小する(簡素化する)
- e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)	26年度予算見積書への反映 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
利用者の要望に応えられるように幅広い資料を収集します。県下4番目となる年間302日の開館日数を維持します。継続して計画的に環境整備を行っていきます。また、懸案であった1階書棚耐震補強を行います。ボランティアの育成・資質向上を目指します。開始から10年を過ぎ11年目となるブックスタート事業の内容を充実させます。	〔反映内容〕 窓改修工事費、書棚耐震工事費、ブックスタート費用、住民一人当たり図書費、臨時職員人件費

(8) 第五次総合計画における事務事業の達成度(H25年度末現在)

A	A(4) 計画の目標を達成した。または、計画の目標をほぼ達成し、今後は継続していく。
	B(3) 計画の目標達成に向け、順調に推移している。または、一部改善の後、事業を継続する。
	C(2) 計画に取り組み始めたばかりである。または、事業の内容について検討をする必要がある。
	D(1) 計画の実施には着手できなかった。
	※具体的な実施内容をお書きください
	窓改修工事、移動図書巡回の拡充、600人を集め成功裏に終わった開館周年記念事業、装備作業へのボランティア導入などを行い、図書館サービスの向上を実施した。

(9) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)	上位の施策の推進に貢献していますか。 <input type="checkbox"/> をチェック
図書館は情報源としての役割は非常に高く、幼児から高齢者までが利用している。開館日数も多く、利用しやすい図書館を今後も目指していく。環境面でも書棚の耐震化、窓改修等も計画的に行ない安全で安心して利用できる図書館を構築していく。	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献度 大 <input type="checkbox"/> D. 上位施策なし <input type="checkbox"/> B. 貢献度 中 <input type="checkbox"/> C. 貢献度 小

(今後の方向性 を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持 イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

上記 a~e を選択